

# わか草



第46回 平成30年4月1日  
発行 東京都立東部療育センター  
広報委員会  
東京都江東区新砂3-3-25

通所

## 卒園式

三月二十七日に乳幼児通所で一名の方の卒園式がありました。五年間通って来られましたが、本当に成長されたと思います。可愛くてみんなのアイドルでした。四月から学校に通われますが、いろいろな事にチャレンジしてください。いつまでもみんなまで応援しています。



卒園式の様子  
(ご両親と一緒に記念撮影)

かもめ  
分教室

## 卒業を祝う会



卒業を祝う会のように  
(お母さんと先生達に囲まれて)

ご卒業おめでとうございます☆  
平成三十年三月二十日、かもめ分教室卒業を祝う会が行われました。  
当日は、保護者の皆様、東部療育センターの職員の皆様、利用者の皆様等、大勢の方々がお祝い集まって下さり、盛大であたたかい会となりました。小学部二名は中学部へ、中学部三名は高等部へ進学し、高等部四名は社会人となります。ぜひ、仲間と過ごしたかもめ分教室での思い出を大切にして下さい。かもめ分教室の教員一同、皆さんを応援しています。  
(かもめ分教室)

病棟

## 成人式



成人式の様子  
(新成人とご両親)

一月十日、二西病棟では一名の方の成人式が執り行われました。素敵なおピンクのドレスに身を包まれ、ちょっぴり緊張していましたが、ご両親に囲まれ来賓や病棟の皆様の暖かい拍手や優しい眼差しを感じ、少しずつ穏やかな表情に変わっていききました。  
式ではお祝いの言葉や鏡割り、お祝いの歌「365日の紙飛行機」などでお祝いしました。「二十歳のあゆみのスライドショー」では成長のすこさに感嘆の声が上がりました。成人の言葉では堂々とされています。大人への一歩を歩き始めました。  
これからも皆で応援して行きます。おめでとうございます。  
(二階西 森)

病棟

## 還暦を祝う会



お母さんや先生、スタッフの皆さんと記念撮影

一月十七日に二階南病棟において、「還暦を祝う会」を行いました。当日はおしゃれをして、好きな歌が流れる中、式は進行了しました。スライドショーで、六十年間のその時々思い出を振り返り、お母様からのメッセージやご本人からの感謝の気持ちが進められた挨拶も述べられました。ご友人も出席され、笑顔あふれ、思い出深い式典となりました。  
(二階南 船木)

表彰

## 江東区障害者作品展



加院長から表彰状授与と記念撮影

二月六日〜九日江東区文化センターにて第三十六回障害者作品展が開催されました。東部療育センターからは病棟、通所から個人、団体合わせて十三展の作品を出品しました。この日に向けて各部署で工夫を凝らした個性豊かな作品を仕上げてくださいました。今年は二南病棟の方が奨励賞を授賞されました。人參の貼り絵でしたがとても素敵なお作品でした。  
(通所 齊藤)

# 新年度を迎えて

(第四十四回 日本重症心身障害学会開催について)

東京都立東部療育センター 副院長 岩崎 裕治

当センターが開設し十二年が経過しました。当センター開設時には、介護者の高齢化による介護困難家族の増加・常時濃厚な医療的ケアが必要な超重症児(者)の増加に対応し、積極的に超重症児(者)を受け入れる、また在宅障害児(者)とその家族が地域で安心して生活できるための総合療育センターとして入所(当時は措置)、短期入所事業、専門外来、リハビリテーション等を提供する等がうたわれていました。私たちはこの使命をまっとうできて

## ◇ 開設当時といま

超重症児(者)とよばれるような常時濃厚な医療的ケアを必要とする方達の受け入れについては、当初より例えば、人工呼吸管理の必要な方を二十名受け入れて出発しましたが、現在は常時三十五名程度のケアを行っています。特に短期入所では受け入れ利用児(者)の半分近くが人工呼吸管理を必要とするような濃厚な医療が必要な方達となっています。在宅で人工呼吸管理を必要とする障害児を介護する家族の睡眠時間は断続的で四く五時間しかとれていないというような調査結果もあり、特に支援が必要な方達です。

このような短期入所利用児(者)受け入れの状況をみると、当初のコンセプトに従って重度な方達の受け入れができていくといえると思います。在宅障害児(者)と家族が安心して生活できるためのサービスの提供では、通所でも短期入所と同様医療的な重症度が高い方達を中心に受け入れており、外来では地域の主治医などとの連携などネットワーク作りも進んでいます。

このように最初のコンセプトに従って運営を進めてきていますが、しかし、あまりにも予想を上回る重症度の高さに対して毎日の医療的な対応に時間をとられすぎてしまっていることも否めないのではないかと感じているころ頃です。

◇ 第四十四回 日本重症心身障害学会に向けて

当センターでは、今年九月に開催される日本重症心身障害学会を主催させていただくことになっていきます。そのテーマは、「高度医療と療育 ―いのちとくらしの現在から未来へ―」としました。これは我々の施設が現在直面している課題でもあります。

高度な医療が増加していく中で、在宅への対応も大変になってきています。療育施設の本質である暮らしの質を保障していくことも、我々に課せられた使命だと考えているからです。

日々進歩していく高度な医療的ケアを間違いなく確実に実施していくことで障害児(者)の生命を保障し、その上で生活の広がりを提供していくことが必要です。限られた職員数で、限られた時間の中で、この両立を図っていくことはとても難しいテーマです。この学会をとおして同じ課題を抱えている仲間と意見を交換し、我々のすすむべき道をさぐっていきたいと考えています。

また本学会では恒例の重症心身障害児(者)ご本人をモデルとしたファッションショーを計画しています。ファッションショーは一般公開の予定です。ぜひご参加ください。

学会は勉強の機会でもありますが、全国の同じ志を持つ仲間と久しぶりに会い情報交換し交流を深める場でもあります。

ります。楽しい会にしたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。(学会の内容)



○ 会期 平成三十年九月二十八日(金) 二十九日(土)

○ 会場 タワーホール船堀(江戸川区 船堀)

〈最寄駅〉 都営新宿線「船堀駅」から徒歩一分

## ○ 内容

- ・ 会長講演
- ・ 特別講演
- ・ 教育講演
- ・ シンポジウム
- ・ 一般演題 (口演・ポスターセッション)
- ・ 看護研究応援セミナー
- ・ ランチョンセミナー
- ・ 教育セミナー
- ・ ファッションショー

# ハローキティ訪問



キティちゃんがお部屋まで来てくれました!

一月三十一日、富国生命CSR（社会貢献活動）推進室増山様の紹介で、ハローキティの訪問がありました。実施されることが決まってからは、利用者様へのサプライズ企画として内々に準備を進めました。病棟の一般スタッフには一週間前に知らせました。この間病棟全体がウキウキしていたように思います。利用者様には当日の朝お知らせ致しました。各病棟では三十分間の記念撮影を行い、ハローキティと一緒に撮った写真一枚々を手作りの写真立てに入れてプレゼントして頂きました。嬉しくて眠れなかった方もいるようです。

（療育部 鶴田）



職員も一緒に記念撮影!



キティちゃんと一緒に記念撮影!

©1976, 2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G583587

## ～ 給食の紹介（栄養科）～ << 簡単ます寿司 >>

### 材料（1人前）

栄養量（1人分）		サーモン	60g
熱量	105kcal	食塩	0.3g
タンパク質	13.4g	酢	2.0g
脂質	2.5g	【合わせ酢】	
食塩相当量	1.2g	酢	17g
		砂糖	4.3g
		食塩	0.8g
		しそ	0.8g



普通食



きざみ食

### 作り方

市販のサーモン切り身を使って、意外と簡単に作れます。

- ① 刺身用サーモンを、厚さ2～3mm程度で、大きめの薄切りにする。
- ② 切ったサーモンに1枚ずつ塩を振り、1時間後に酢を入れたボウルで塩を流す。（水を使わない）
- ③ サーモンの酢をキッチンペーパーでさっと拭いて、合わせ酢に1時間程度漬ける。
- ④ 寿司飯を作っておく。
- ⑤ 底が丸い容器にラップを敷いて、サーモンを隙間なく広げ、その上に寿司飯を均等にのせる。  
 （出来上がりを予想してサーモンをきれいに並べるとよい。またサーモンと酢飯の間にしそ葉を挟んでもよい）
- ⑥ ラップで蓋をして全体がカバー出来る重石をかけて、冷所で1～2時間置いてから盛り付ける。  
 出来上がった魚を刻んで、少量の油やマヨネーズを混ぜればマッシュ形態の方まで召し上げれます。  
 多くの方が大好きなお寿司です。どうぞお試し下さい。

# 総合防火・防災訓練

二月十四日水曜日午後二時から、今年度二回目の総合防火・防災訓練を行いました。

火災感知器の発報により、通常、職員がいない図書室での出火が判明。初期消火隊は、消火器で鎮火できず、フロアーに煙が充満してきたために消火栓での消火活動ができずに退避する、という大規模火災を想定して実施しました。

今回も、非常放送を聴いて、いかに行動できるかを主眼に置きました。

煙が屋内階段まで広がったため屋内階段の使用を制限し、避難誘導、利用者搬送の応援や、災害対策本部への報告を、屋内階段を使わずに移動する訓練を行いました。

訓練終了後の反省会では、屋外非常階段へのルートや扉の開錠に戸惑ったという意見が多くありました。今後、屋外非常階段の場所や経路、使用方法などを職員に周知するとともに、実際の避難方法などについて検討することとしました。

また、ご協力ありがとうございました。

に職員が使用できるように、屋外療育場で消火栓からの放水訓練も併せて行いました。

防災訓練時には非常放送が入り、ご迷惑となるかもしれませんが、災害時に備える大事なものですので、今後とも皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

(防火・防災対策委員会)



災害対策本部設置



消火栓訓練

## 部門紹介

## 歯科外来



1階の歯科外来入り口

歯科外来は、一階の一番奥にあり、⑬番です。歯科を受診するには、小児科あるいは神経内科の主治医から依頼が必要になります。歯科治療は侵襲度(身体的、精神的負担)が比較的高いので、主治医の判断や指示が必要になるからです。

また、ほとんどの場合簡単な処置でも出血します。ひどい場合には、歯ブラシを入れただけでも、ちょっと歯石を取っただけでも、歯ぐきから血が出ます。そのために、事前に感染症の有無を確認しています。

以上の理由から、歯科を受診するまでには、いくつか高いハードルがありますがご理解頂きたいと思っております。利用者の皆様のために安全対策や感染対策に十分な配慮をした上で、安心して歯科治療が受けられるように環境を整備して、清潔な歯科診療室を目指しています。

口腔ケアや口腔機能向上に関しては、全身との関わりが広く知れ渡ってきました。悪くなってきたらでは、さらにハードルが高くなってしまいます。歯科に慣れる為に、予防的な意味で、特別に口の中に問題がなくても、早い段階での受診をお勧め致します。

(歯科 中村)

## 第十回 院内研究報告会

(平成三十年三月十四日(水)開催)

今回は「研究報告」「業務改善」「実践報告」の力テゴリーで合わせて十四題あり、審査は研究内容・発表態度・質疑応答・抄録等をポイントとして評価を行いました。

### 《最優秀賞》

「重症児(者)における視覚機能評価の試み 第二報  
アイトラッカーを用いた選好注視」  
リハビリテーション科 山際英男さん ほか

### 《優秀賞》

「ムーブメント教育・療法のアセスメントとムーブメント活動の実践報告」  
通所 藤崎智成さん

### 《敢闘賞》

「当センターにおける重症児(者)に対する聴覚評価」  
聴こえの側面から療育環境を考える  
リハビリテーション科 岡本敦子さん ほか

### 《奨励賞》

「外来における身体計測が困難な発達障害児とその保護者への関わり方の検討」  
外来 長谷部いずみさん ほか

今回リハビリテーション科の山際さんは二連覇達成です。また、今回新しく「奨励賞」という賞が誕生(っ)しました。

皆さん日ごろの業務を行いながらの研究や発表会への準備等色々苦労も多かったと思われます。口演者の皆さんそして、研究に携わった皆さんお疲れ様でした。  
(庶務係)

# 平成三十年度 事業方針

東部療育センターは設立当初から「全国重症心身障害児（者）を守る会」が東京都の指定管理を受け運営を行っており、現在十三年目に入っています。

今年度も引き続き、守る会の「最も弱いものをひとりももれなく守る」という基本理念の基に、手厚い医療・看護と介護が必要な都内の超（準超）重症児を積極的に受け入れるとともに、区部東部地域の障害児（者）を支援する中核的施設としての役割を担っていきます。

運営規模はこれまでと同様、入所・入院が、長期入所九十床、短期入所二十四床、医療入院六床。通所は、成人、乳幼児合わせて一日三十五人（成人と乳幼児の枠は弾力的に運営します）。外来は一日百人で運営します。また、地域への支援や連携を更に強化するとともに情報発信にも力を入れていきます。

現在、当センターの病棟全体で超（準超）重症児の占める割合は約七八％に達し、人工呼吸器も年々増加しており、平均で一日三十三台稼働しており、三十七台を超える日もあります。また通所でも、登録者のうち超（準超）重症児の数は七十五％を超えています。こうした中で、全職員が一丸となって連携協力し、利用者の医療安全や感染症予防には特に注意を払い、個々の

利用者の病状や年齢、成長に合わせたQOLの向上を目指し、質の高い療育に努めていきます。今年度は更に、夜間帯の安全確保に努めるため、夜勤四人体制を二病棟に拡充します。病棟の適正な職員配置を目指すための検証も進めていきます。

ご要望の高い行事や外出活動などの充実のほか、季節を感じられる行事食等の工夫も進めていきます。また、利用者本位の意思決定支援や緩和ケアの検討を継続して取り組んでいきます。更に通所では、昨年増車した送迎バスを活用し、乳幼児通所利用者に対して送迎を開始します。

人材の確保・定着及び人材育成には引き続き力を入れ、質の高い専門職の育成と療育の向上を図っていきます。なお、今年九月二十八日から二十九日に、日本重症心身障害学会学術集会を当センターが主催して開催いたします。

今年度も更に全職員が一致協力して、安全・安心な療育を目指して努力してまいります。

（事務長 水野）



# 平成二十九年度 福祉サービス 第三者評価 結果概要

二十九年度は、昨年に引き続き、「株式会社日本生活介護」に依頼して第三者評価を行いました。ご家族の皆様にもアンケートにご協力をいただきありがとうございました。評価方法は、定められた評価基準と手順を基に行われ、場面観察やご家族の皆様・職員のアンケート結果なども評価の参考としています。ここでは、全体の評価講評について報告します。

## ◇ 入所

（特に良いと評価された点）

① 常により良い組織であることを目指して改善に資する取り組みを積み重ねており、外部からの評価につながっている。

② 多職種の専門家が協働し人工呼吸器装着者の活動参加を可能としており、全体行事、グループ活動なども特性に合わせて取り組みが活発である。

③ 療育現場における記録の重要性に鑑み、「記録委員会」が牽引役となっており、記録の適正化に最大限努めている。

（さらなる改善が望まれる点）

① 部門ごとの教育計画やキャリアパスに関する取り組みについて、組織として統一的な視点で再確認をしていくことが期待される。

② 超（準超）重症児・者の受入れに

対応する組織基盤の充実が課題となっており、職員の確保及び定着率向上や業務量調査の進展が期待される。

③ 入所だよりの編集について検討し、病棟ごとの活動状況等ができる限り個別具体的な情報提供をしていくことに期待したい。

## ◇ 通所

（特に良いと評価された点）

① 「入所」①と同じ。

② 送迎バス増、通所と短期入所の同日利用等、利用者が抱える様々な課題に対応するため、着実に利用者サービスの向上に取り組んでいる。

③ 「入所」②と同じ。

（さらなる改善が望まれる点）

① 「入所」①と同じ。

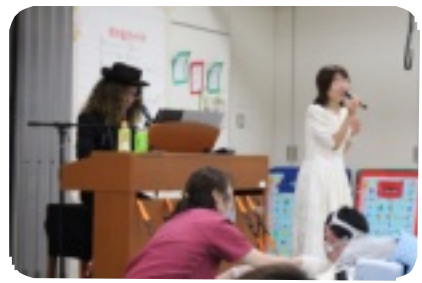
② 「入所」②と同じ。

③ 今後、利用登録者の増加が予測される中で、行事や活動の充実のためにボランティアの活動内容の多様化について検討されたい。

今後、この評価を踏まえサービスの向上に努めてまいります。詳細については外来、病棟でファイルが閲覧できます。また、インターネット「福祉ナビ」でもご覧いただけます。

（経営企画係）

ボランティア紹介



ジャズ演奏  
MAMO(ピアノ) & MIE(ヴォーカル)

MAMOこと、中澤守です。ジャズを中心にボサノバ、ソウル、ポピュラーなどの音楽を約四十年に渡って、ライブハウ

スやコンサート会場、CDにてお届けする活動をしております。音楽活動の傍ら私自身がカイロプラクティック院を渋谷にて開業しており、施術活動中、ヒールングミュージックとして安らぐ楽曲を創り、音楽療法的に患者様に聴いていただいてもしております。

療育センターには、十年ほど前よりピアノの弾き語りや、女性ヴォーカルとのデュオにて参加させていただいております。ここ数年は美容カイクの先生としても活動している。

お汁粉など、お正月気分を満喫しました。十日に病棟で成人式を行い、成人になられた一人の方のお祝いをしました。

また十七日には、還暦を迎えられたお一人の健康長寿を祝う会を行いました。



大晦日に初雪を観測した東京ですが、元旦は晴天。見事な初日の出を拝むことができました。今年も栄養科さんが丹精込めて作ってくれたおせち料理で新年を祝いました。また、恒例のかもめ分教室の餅つき会のほか、給食の七草粥や鏡開きの

る、ヴォーカルのMIEこと松本美恵子と一緒に、お邪魔させて頂いております。

皆様には非日常的な音楽を楽しんでいただき、少しでも何かしらの刺激になれば、良いかなと毎回楽しみに歌わせていただいております。今後とも宜しくお願い致します。皆様のご健康をお祈りしております。(MAMO & MIE)



【二月】

今冬は例年になく寒波襲来で、東京も二月は雪で始まりました。一方、平昌オリンピックでの日本選手の活躍に、大いに盛り上がりました。十四日には大規模火災を想定した総合防災訓練を実施し、センターのすべてのスタッフが参加して、非常時の対応を確認しました。

地元の「江東区重症心身障害児(者)を守る会」が創立三十周年を迎え、

十八日に記念式典が行われました。地域との連携を深めるためにも今後の一層の発展を期待しております。



【三月】

ようやく春の気配が感じられるようになってきた三日のひな祭り。それぞれ工夫を凝らした雛飾りが彩り、食卓にも春色のちらし寿司や菜の花のお浸し、三つ葉の澄まし汁に桜餅風のデザートが並び、春らしい行事を楽しみました。

三月は旅立ちの季節。墨東特別支援学校からも分教室では高等部四名、中学部三名、小学部二名が卒業しました。また乳幼児通所ばればれでは一名の方が卒業されました。ご卒業・ご卒業おめでとうございます。

【編集後記】  
今年も例年になく寒さが厳しい年でした。また風の冷たさは厳しいですが、一日一日と日差しが強くなり桜の花から桃、ツツジへと春の色が移ろいしていきます。三月は卒業や卒園、四月は新しい利用者の方や職員が入り、新たな一年が始まる季節であり、また新たな希望が芽生える季節でもあります。職員皆が一致団結し、新たな希望を膨らませましょう。



花見のようす

生センター内のお花見も、例年より早く開放してくれました。二十九日から三十一日までの間に、病棟のほとんどの利用者の方がご家族やスタッフ等と一緒にお花見を楽しみました。呼吸器を着けた利用者も、医師や看護師等が付き添って、満開の桜を愛でることができました。

四月から新しく入職された皆さんです。よろしくお願ひ致します。

新人紹介

- (薬剤検査科)  
薬剤師 検査科長  
薬剤師 船津 久美さん
- (二階西病棟)  
看護師 鹿島 由美さん  
看護師 戸田 史 さん
- (二階南病棟)  
看護師 神野 智子さん  
看護師 西尾 亜紀さん
- (三階西病棟)  
看護師 志村 綾香さん  
看護師 仲井 貴雅さん
- (三階南病棟)  
看護師 加藤 さよこさん  
看護師 鷹羽 司 望美さん  
看護師 板橋 みずほさん



草をはか  
わの方  
のたいぞ  
でなり  
まらな  
これら  
← 閲覧  
ごから